

11 月例会「宮城・山形研修事業」

11 月 6～8 日 於 宮城県、山形県

協和精工株式会社 山下 正起

会社訪問委員会が担当する 2 回目の例会としまして、11 月 6～8 の 3 日間の日程で、宮城県、山形県の様々な業種の企業様を訪問致しました。

1 日目：

まず初日は伊丹空港から飛行機で仙台空港まで移動して、宮城県岩沼市の株式会社岩沼精工様を訪問致しました。岩沼精工様は東日本大震災で甚大な被害に遭われて、会社一丸で復旧・復興を成し遂げられて、現在では様々な方面でご活躍されておられる企業様です。

まず初めに社長であられる千葉様に、企業の概要や震災当時の様子、今日に至るまでの経緯などを詳しくお話しいただきました。

特に震災については、地震が起こった直後からを時系列でお話いただき、どのようにして津波が襲ってきたのか、社員の方がどう行動されたかなど具体的にお聞きして、大きな震災が起こりにくい土地柄にいる私達も、データのバックアップや金型などの重要な物品の保管など、非常時の対策は必要であることを痛感いたしました。

お話をお聞きする中で特に感じたことが、社長自身はもとより企業として、社員の方をとっても大切にされている事でした。

震災からの復旧・復興を進める大きな一歩になった、社員の方々からのお声掛けも、そうした企業の姿勢があったからこそだと思いました。

お話をお聞きした後は、工場を見学させていただきました。

工場内を見学させていただいて感じたことは、金型の設計からプレス加工までを一貫して請け負っておられることもあり、技術レベルの高さに驚きました。



その後、バス移動にて山形県長井市に移動しました。

まずご訪問させていただいたのが、山形県立長井工業高校様です。

こちらの工業高校は、ロボットに非常に力を入れておられて、行政や企業と連携して様々な取り組みをされておられました。

まず始めに校長の宮野様より、学校の特徴や取り組み、地域を活性化していく中での工業高校の役割についてなどをお話しいただきました。

『長工生よ、地域を潤す源流となれ！』というスローガンを掲げて学校運営をされておられ、地元企業への就職を通して、長井市の発展に貢献されておられました。



お話をお聞きした後は、校舎施設を見学させていただきました。

通常の機械科だけでなく、福祉に関する学科も設置しておられる学校で、福祉施設との連携など、珍しい活動をされておられました。

各担当の教師の方々にご説明いただき、非常に熱心に指導をされておられる事が伝わってきました。

企業との連携も積極的に行っておられて、授業や課外活動の中で、実際に企業の方が技術指導に来られたり、福祉施設で開発したものを使っておられたりと、刺激を受けることがたくさんありました。

帰り際に、企業の方が気軽に学校内へ入って行かれる様子を見て、本当に地域一丸で学校教育に力を入れておられる事を感じることができました。



1日目の夜は、長井市の西置賜産業会様との交流会でした。

まず始めに、顧問の中村先生より基調講演をしていただきました。

その中では、昨今のモノづくり業界への警鐘を鳴らすようなお話や、私達中小企業がどのような考え方で企業経営をしていけばよいかなど、様々なお話をさせていただきました。

その後、場所を移して地元のおいしいお料理とお酒を頂きながら盛大に交流会を行いました。

長井工業高校の宮野校長先生も出席してくださり、最後までお付き合いいただきました。



2日目：

最初に訪問させていただいた企業様が、株式会社ニクニ白鷹様です。

まず何よりも、その広大な敷地に驚かされました。手掛けておられる事業も、自社開発の産業ポンプの製造販売をはじめ、半導体関係や液晶関係など多岐に渡り、大型の加工機を何台も保有されておられ、さらには表面処理までを社内で一貫して対応できるようにしておられます。工場内はとてもしっかりと管理がされており、生産性の高さに感銘を受けました。



続いて訪問させていただいた企業様は、合資会社山一醤油製造所様です。

こちらの企業様は、創業寛政元年という非常に歴史のある企業様で、主にお醤油を製造されておられます。山一醤油様の名物が「あけがらし」という独自の商品で、ネット販売や有名百貨店などで取り扱っておられます。

建屋自体も大変貴重な歴史的建造物で、随所に歴史を感じることができました。

ご案内をさせていただいたのが、九代目当主の齋藤様で、元証券マンというユニークな肩書をお持ちで、物腰が柔らかく優しい口調でお話をされておりましたが、

自社の強みやブランド戦略、自社をどう見せていくかなどとても参考になるお話を聞かせていただく時は、やはり経営者としての凄みを感じました。



3 社目は株式会社四釜製作所様です。

こちらは板金加工と切削加工やワイヤーカット、塗装、組み立てまで一貫して事業展開されておられて、様々な加工技術を高いレベルで保有しておられました。

先代社長であるお父様が亡くなられてから、20代の時にご兄弟で経営トップに就かれて現在に至ります。

その間様々な苦難に直面されながらも乗り越えられてこられた中で、周りの経営者仲間の支えがあったというお話をお聞きし、機青連の結束力を再確認し、改めて恵まれた環境にいる事を。

感じることができました。



そして、長井地方最後の訪問先は朝日金属工業株式会社様です。
精密プレス金型、精密プレス部品製造をおこなっておられます。企業のご説明を頂く中で、取締役の加藤様は、同族経営ではないことを強調しておられて、社員一人一人が当事者意識を持って「みんなの会社」という想いを大切にされておられました。
工場内は小さなプレス部品が、ものすごいスピードで出来上がっていく様子は圧巻でした。
また、金型の開発や製造についても詳しくお話いただき、技術力や品質を追求しておられることがよく分かりました。



3日目：

まず向かったのが、株式会社中沖酒造店様です。
こちらは地元のお米やお水を使った地酒を製造販売されておられて、酒造りの方法など酒蔵を見学させていただきながらお話していただきました。
社長とご子息にお話を頂き、試飲までさせていただく事ができました。
お2人とお話をしている中で、酒造りにかける情熱を感じることができ、とても刺激をいただく事ができました。



そして最後の訪問先は、上杉神社、上杉城址苑です。
こちらでは、ガイドの方にご案内いただく中で、上杉家の歴史に触れることができ、
その中でも、京都と縁が多いことを初めて知ることができました。



そして、バスにて仙台空港まで移動し、伊丹空港で解散となりました。

今回の3日間を通して一番感じたことが、人のつながりの大切さでした。
各訪問先の企業様をはじめ、西置賜産業会の皆様、岩沼精工様、山一醤油製造所様、
中沖酒造様、その他にも中村顧問のご案内で業種を問わずたくさんの出会いをいただき、
自社の事業はもとより、自分自身の人生において大切なことも学べたように思います。
また、各社それぞれ強みを構築して、前面に押し出しながら経営をされておられる事を直に見学してお話を聞かせて
頂いた事も、とても良い気づきを頂けたように思います。

準備の段階からご尽力いただきました株式会社昌和製作所の小関社長も、最後にお話を頂き、
ご自身の経験においても、「人の縁」をととても大切にしているという事をお話しされていて、
今後も今回頂いたご縁を大切にしていきたいと思いました。



昌和製作所 小関社長



割烹旅館とらや様にて